

品質方針

[品質基本理念]

わが社は顧客が求める最高の品質を提供する

最高の品質とは、単に高精度をいうのではなく機能を重視し経済性を考慮に入れた「プロダクト品質の安定」と「対顧客サービス」をいう。

品質とは「経営理念の結晶」である

「品質は工程でつくられなければならない」というのがわが社の品質思想である。製品を作る作業工程の中で偶然に良いものができたり、悪いものができたりするのではなく、工程を通過することで不良品が出てこないような「つくりこみ」により品質を安定させていく。そして「つくりこみ」を徹底するために必要な管理体制、技術的な改善、管理的な改善を常に整備しなければならない。

「SAIJO」ブランドとしては、作業工程を通じて品質の「つくりこみ」を徹底し、最高の品質を顧客に提供することで経営理念を結晶化する。

[品質基本方針]

1. 我々が創る製品は、出来栄を確認し、自信を持って顧客に送り出す
2. 過剰品質は最終消費者への背信行為とみなす
過剰品質とは、顧客要求からかけ離れた品質水準をいい、顧客に必要外の経済的負担を強いることになる
3. 品質は“つくりこみ”で保証する
偶然では無く必然に、不良が作りたくても作れないプロセスを確立する

[2018年度品質方針]

常にお客様起点で考え行動する

2018年度基本方針「未来への基盤づくり」実現の為、考え方や行動において全ての根源は顧客起点であることが絶対条件となる。

我々が創業来大切にしてきたコト（基本理念、経営理念、行動指針等）の実行レベルを品質活動を通じて向上させ、理念の結晶化（＝企業品質の向上）を実現し品質問題の根本解決へアプローチすると共に、各事業毎の品質重点施策を通じて顧客満足度向上に直結する提供価値に磨きをかける。

2018年4月16日
株式会社 最上インクス
代表取締役社長 鈴木 滋朗